

市立保育園の配置等に関するあり方

2023 年（令和 5 年）3 月

浦 安 市

目 次

1章. 市内保育園に関する現状分析	1
1. 就学前児童数の推移	1
2. 保育園の定員数と在籍者数の動向	2
3. 個別市立保育園の現状	5
4. 保育園在籍児童の居住地区と通園地区の分析	14
2章 市立保育園の配置等に関する望ましいあり方について	20
3章 富岡保育園の建て替えについて	25

1 章. 市内保育園に関する現状分析

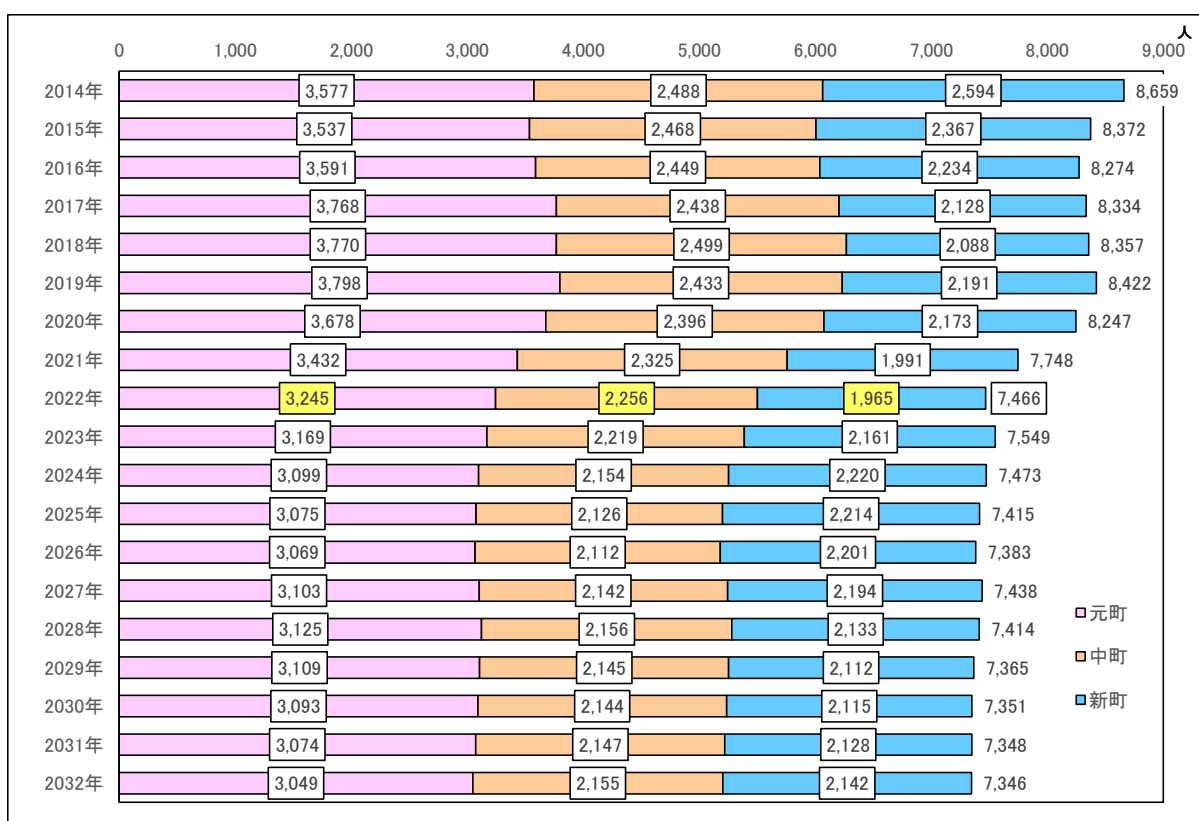
1. 就学前児童数の推移

市内の就学前児童（0～5歳児）の数は、2019年（8,422人）までは横ばい基調で推移してきましたが、その後2022年（7,466人）にかけて急減しました。2019年以降3年間の人口減少数は956人で、この間の減少率は11.4%となっています。背景には、新型コロナウイルスの影響等があるものと推察されます。

児童数について将来推計を行ったところ、今後の就学前児童数は、直近3年間よりも趨勢は鈍化するものの、減少傾向が続くという結果がでました。2022年の7,466人から10年後の2032年には7,346人へ、10年間で120人減少する見込です（10年間の減少率：▲1.6%）。

3地域別の2022年までの動きをみると、特に2019年頃まで増勢が強かった元町で、その後の減少幅が大きかったことが目立っています。今後については、元町と中町では減少傾向が続く一方で、新町ではやや増加するという推計結果になっています。

◇就学前児童数の推移（2022年までは実績値。2023年以降は推計値）



（注）ここでの推計は、保育ニーズ量の設定と、そこから実際の保育園の定員数の増減を判断する材料とすることを目的とした仮推計であり、2022年12月に市が行った推計をベースとして、移動率等について情勢を加味し、より現実的な仮定設定を行い実施しました。

2. 保育園の定員数と在籍者数の動向

①市全体

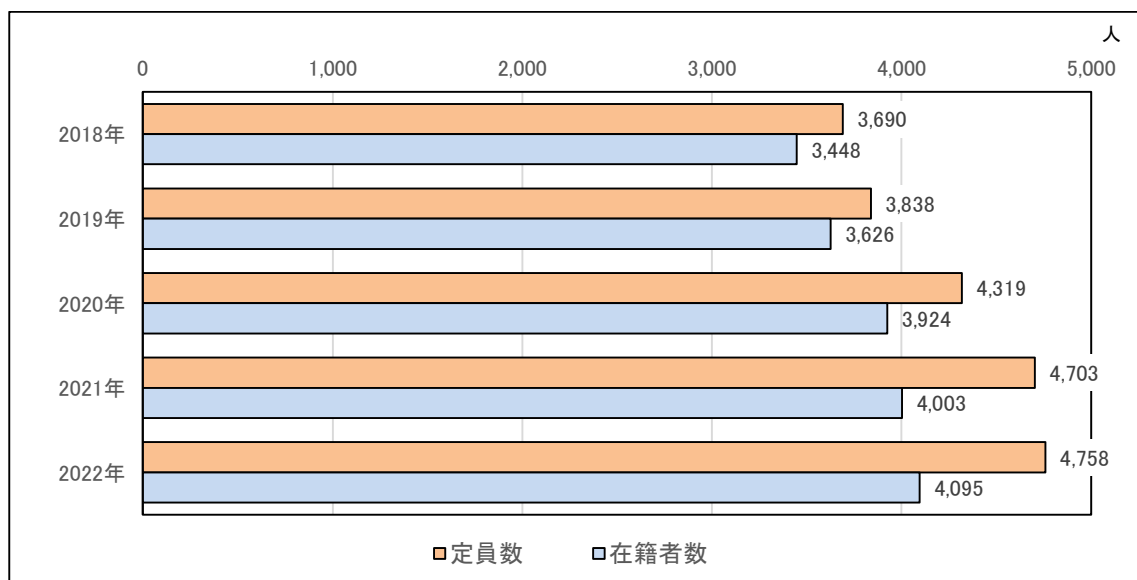
市内の保育園の定員数は、増大する保育ニーズに対応し待機児童を解消することを目的として、2018年の3,690人から2021年まで大幅な増加を続けた後、2022年は微増となりました（2022年時点の定員数：4,758人）。4年間の定員の増加数は1,068人で、増加率は28.9%となっています。この結果、市の待機児童数は2021年に0人となりました。

保育園の在籍者数についても、2018年の3,448人から2022年の4,095人まで増加傾向が続いており、この間の増加数は647人、増加率は18.8%となっています。在籍者数は増加しているものの、定員数の増加と比較すると、勢いは弱いことがわかります。

時系列で定員数と在籍者数の差異をみると、2018年の242人（3,690人－3,448人）から2022年には663人（4,758人－4,095人）まで拡大しています。これを受けて、「在籍者数／定員数」の比率は2018年の93.4%から2022年には86.1%へ、7.4ポイント低下しています。

◇市内保育園の定員数と在籍者数の推移

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	4年の増減数	4年の増減率
①在籍者数	3,448	3,626	3,924	4,003	4,095	647	18.8%
②定員数	3,690	3,838	4,319	4,703	4,758	1,068	28.9%
②－①	242	212	395	700	663	421	—
①／②	93.4%	94.5%	90.9%	85.1%	86.1%	—	-7.4%



②市立／私立別 （市立は公設民営の2園を含む9園）

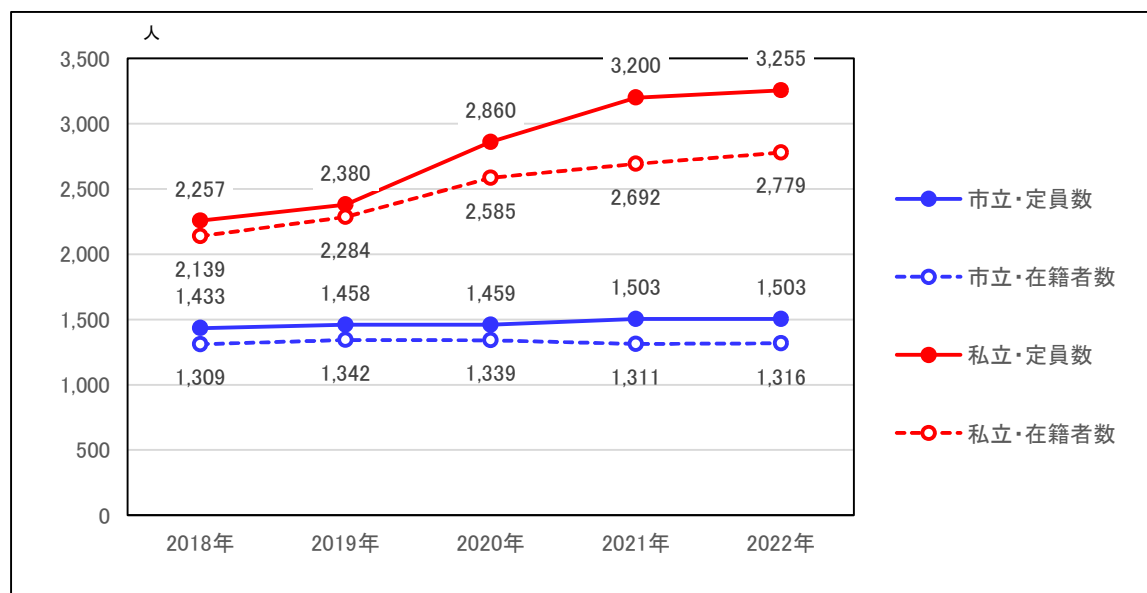
市立／私立別で定員数の動きをみると、2018年からの4年間で、市立が微増（70人、増加率：+4.9%）であるのに対し、私立は大きく増加しています（+998人、同：44.2%）。私立の増加要因は、本市が私立の施設整備をすすめたことによるものです。

在籍者数については、市立の在籍者数はほぼ横ばいであるのに対し、私立の在籍者数の増加幅は大きく、同じく4年間の増加数はそれぞれ7人（+0.5%）、640人（+29.9%）となっています。

その結果、定員数と在籍者数との差異は、市立が124人から187人へと比較的緩やかな増加（+63人）にとどまっているのに対して、私立は118人から476人へと大きく増加しています（+358人）。定員数に対する在籍者数の比率も、市立は91.3%から87.6%へと3.8%ポイントの低下であるのに対して、私立は94.8%から85.4%へ9.4%ポイントと大きく低下し、定員割れの幅が拡大しています。

◇市立／私立別 定員数と在籍者数の推移

		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	4年の増減数	4年の増減率
市立	①在籍者数	1,309	1,342	1,339	1,311	1,316	7	0.5%
	②定員数	1,433	1,458	1,459	1,503	1,503	70	4.9%
	②－①	124	116	120	192	187	63	—
	①／②	91.3%	92.0%	91.8%	87.2%	87.6%	—	-3.8%
私立	①在籍者数	2,139	2,284	2,585	2,692	2,779	640	29.9%
	②定員数	2,257	2,380	2,860	3,200	3,255	998	44.2%
	②－①	118	96	275	508	476	358	—
	①／②	94.8%	96.0%	90.4%	84.1%	85.4%	—	-9.4%



③ 3 地域別

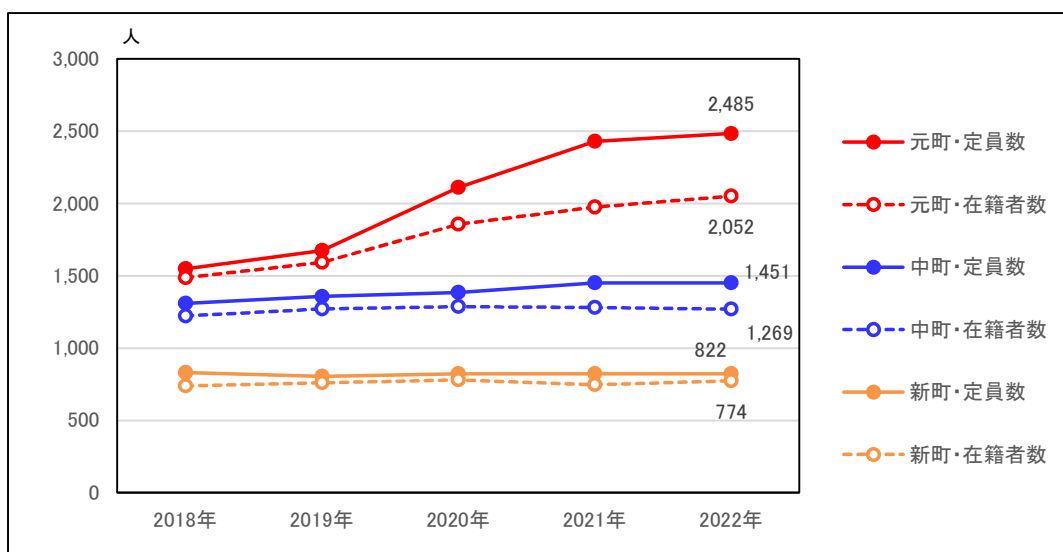
市内の3地域別でみると、元町の定員数が4年間で936人、+60.4%と大きく増加していることが目立っています。この間、在籍者数も増加していますが、増加数は565人、増加率は+38.0%で、定員数ほどの勢いはありません。その結果、両者の差は62人から433人へと拡大しています。2022年の定員数に対する在籍者数の比率は82.6%で、3地域の中で最も低くなっています。

中町では、元町ほどではないものの定員数、在籍者数ともに増加傾向にあります。やはり定員数の方が在籍者数より増勢は強く、両者の差は拡大しています。2022年時点では182人、在籍者数/定員数の比率は87.5%となっています。

新町では、定員数と在籍者数は、ともに横ばい程度で推移しています。2018年以降その差は100人未満の状況が続いており、2022年時点では48人となっています。2022年の定員数に対する在籍者数の比率は94.2%で、3地域の中でもっとも高く、また新町では2023年、2024年と大型集合住宅が竣工し、新たな就学前児童の入居が予想されることから、保育園のひっ迫度合いが更に強まることが予想されます。

◇3 地域別 定員数と在籍者数の推移

		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	4年の増減数	4年の増減率
元町	①在籍者数	1,487	1,594	1,857	1,975	2,052	565	38.0%
	②定員数	1,549	1,675	2,111	2,430	2,485	936	60.4%
	②-①	62	81	254	455	433	371	—
	①/②	96.0%	95.2%	88.0%	81.3%	82.6%	—	-13.4%
中町	①在籍者数	1,223	1,271	1,287	1,281	1,269	46	3.8%
	②定員数	1,310	1,357	1,385	1,451	1,451	141	10.8%
	②-①	87	86	98	170	182	95	—
	①/②	93.4%	93.7%	92.9%	88.3%	87.5%	—	-5.9%
新町	①在籍者数	738	761	780	747	774	36	4.9%
	②定員数	831	806	823	822	822	▲9	-1.1%
	②-①	93	45	43	75	48	▲45	—
	①/②	88.8%	94.4%	94.8%	90.9%	94.2%	—	5.4%



3. 個別市立保育園の現状

市内の7つの市立保育園（公設民営の2保育園を除く）の現状について整理します。

① 当代島保育園

【立地】 元町 当代島地区	住所	浦安市当代島1-25-27
	開設・改修時期	建築年度:1973年 【大規模改修】1997年（大規模改修後築25年）
	構造・規模	RC構造2階建て 延床面積:1,049.27㎡

- ・ 2021年に定員数が減少しており、2022年にかけて在籍者数も減少となりました。
- ・ 定員数に対する在籍者の比率はほぼ100%近くで推移しており、直近2022年は96.2%となっています。
- ・ 2022年は当代島地区と北栄地区からの通園者が75%を占めており、元町以外からの通園者はほとんどいません。

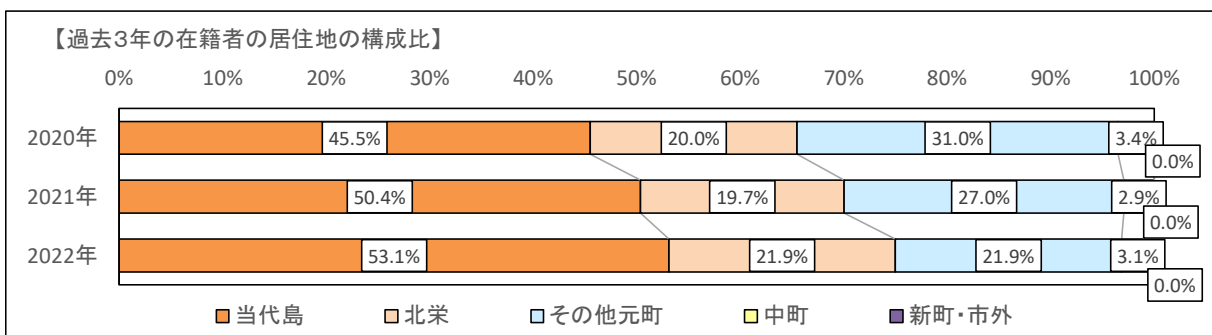
○ 年齢別 在籍者数・定員数の推移（単位：人）

年齢	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	4年の増減数
0歳児	14	15	15	14	14	0
1歳児	15	15	15	15	14	▲1
2歳児	30	30	29	23	24	▲6
3歳児	30	30	29	28	23	▲7
4歳児	30	30	29	29	25	▲5
5歳児	30	28	28	28	28	▲2
①在籍者数計	149	148	145	137	128	▲21
②定員数	150	150	150	133	133	▲17
②-①	1	2	5	▲4	5	4
①/②	99.3%	98.7%	96.7%	103.0%	96.2%	—

○ 在籍者の居住地の推移（単位：人）

地域	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	4年の増減数	22年構成比
元町	143	143	140	133	124	▲19	96.9%
中町	4	4	5	4	4	0	3.1%
新町	1	0	0	0	0	▲1	0.0%
市外	1	1	0	0	0	▲1	0.0%
合計	149	148	145	137	128	▲21	100.0%

猫実	18	22	26	25	14	▲4	10.9%
当代島	83	71	66	69	68	▲15	53.1%
北栄	27	36	29	27	28	1	21.9%
堀江	13	14	19	12	14	1	10.9%
富士見	2	0	0	0	0	▲2	0.0%



②猫実保育園

【立地】 元町 北栄地区	住所	浦安市北栄3-31-14
	開設・改修時期	建築年度:1979年 【大規模改修】2014年（大規模改修後築9年）
	本棟の構造・規模	RC構造2階建て 延床面積:628.67㎡(ごみ置き場合む)

- ・定員数に変化はなく、在籍者数も横ばい基調で推移しています。
- ・定員数に対する在籍者比率は97～99%程度で、毎年ほぼ定員数に近い在籍者数となっています。
- ・北栄地区からの通園者が8割弱を占め、その他も含めた元町からの通園者が9割を超えています。

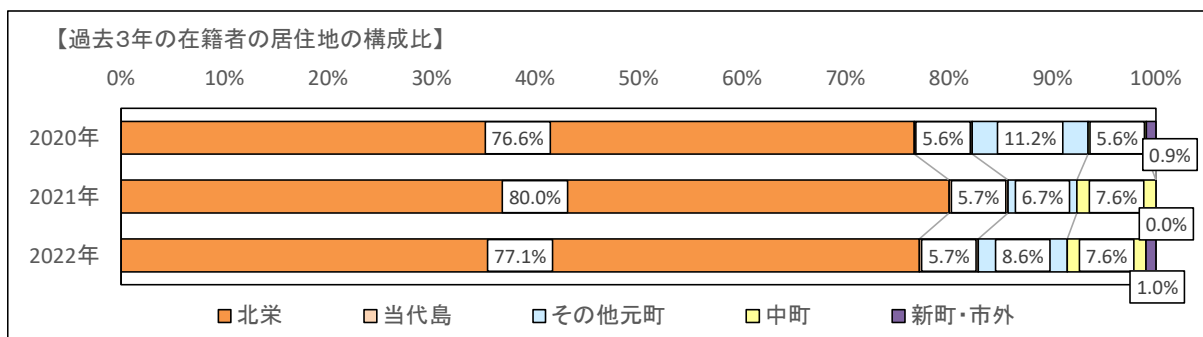
○年齢別 在籍者数・定員数の推移（単位：人）

年齢	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	4年の増減数
0歳児	12	12	12	12	12	0
1歳児	15	15	15	15	15	0
2歳児	17	17	17	17	17	0
3歳児	19	18	19	17	18	▲1
4歳児	22	21	22	21	21	▲1
5歳児	22	22	22	23	22	0
①在籍者数計	107	105	107	105	105	▲2
②定員数	108	108	108	108	108	0
②-①	1	3	1	3	3	2
①/②	99.1%	97.2%	99.1%	97.2%	97.2%	—

○在籍者の居住地の推移（単位：人）

地域	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	4年の増減数	22年構成比
元町	101	100	100	97	96	▲5	91.4%
中町	6	4	6	8	8	2	7.6%
新町	0	0	0	0	0	0	0.0%
市外	0	1	1	0	1	1	1.0%
合計	107	105	107	105	105	▲2	100.0%

猫実	7	9	8	5	4	▲3	3.8%
当代島	1	3	6	6	6	5	5.7%
北栄	84	75	82	84	81	▲3	77.1%
堀江	8	11	2	2	5	▲3	4.8%
富士見	1	2	2	0	0	▲1	0.0%



③入船保育園

【立地】 中町 入船地区	住所	浦安市入船6-9-1
	開設・改修時期	建築年度：年1980年 【建替】2021年（建替後築2年）
	本棟の構造・規模	RC構造2階建て 延床面積：1,981.73㎡

- ・ 2021年の建て替えに伴い定員数が75人増加しており、在籍者数も2022年にかけて増加しています。定員数の増加により、在籍者比率は2020年までと比較すると低下しています。
- ・ 2022年の在籍者比率は85.2%で、定員増加の影響もあり7園の中では最も低く、定員数－在籍者数は37人で、入所にやや余裕がある状況にあります。
- ・ 入船地区、美浜地区からの通園者が5割弱となっています。新町の3地区からの通園者も4割弱を占め、近年増加傾向にあります。

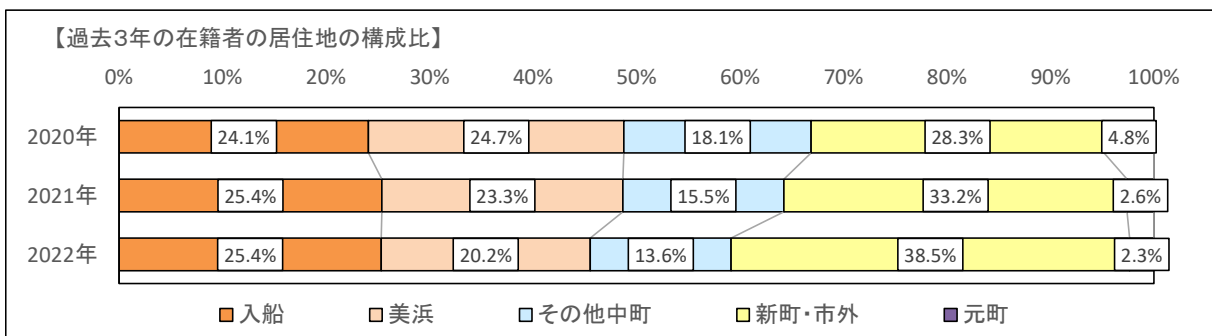
○年齢別 在籍者数・定員数の推移（単位：人）

年齢	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	4年の増減数
0歳児	11	12	8	11	6	▲5
1歳児	30	30	29	30	30	0
2歳児	30	29	30	31	33	3
3歳児	34	33	34	53	48	14
4歳児	34	30	34	35	57	23
5歳児	33	34	31	33	39	6
①在籍者数計	172	168	166	193	213	41
②定員数	175	175	175	250	250	75
②－①	3	7	9	57	37	34
①／②	98.3%	96.0%	94.9%	77.2%	85.2%	－

○在籍者の居住地の推移（単位：人）

地域	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	4年の増減数	22年構成比
元町	6	8	8	5	5	▲1	2.3%
中町	124	117	111	124	126	2	59.2%
新町	38	43	46	62	78	40	36.6%
市外	4	0	1	2	4	0	1.9%
合計	172	168	166	193	213	41	100.0%

東野	2	1	1	1	2	0	0.9%
富岡	8	7	6	3	4	▲4	1.9%
今川	15	15	15	16	12	▲3	5.6%
弁天	0	2	2	2	2	2	0.9%
海楽	7	4	6	8	9	2	4.2%
入船	42	42	40	49	54	12	25.4%
美浜	50	46	41	45	43	▲7	20.2%
舞浜	0	0	0	0	0	0	0.0%



④富岡保育園

【立地】 中町 富岡地区	住所	浦安市富岡3-1-6
	開設・改修時期	建築年度:1983年(築40年)
	本棟の構造・規模	RC構造2階建て 延床面積:1,090.97㎡

- ・2021年に定員数は若干減少しており、在籍者数も2021年、2022年とやや減少しています。
- ・直近2022年の在籍者比率は86.9%で、7園の中で2番目に低く、また定員数－在籍者数は21人で、入所にやや余裕がある状況にあります。
- ・富岡地区、弁天地区及び今川地区からの通園者の比率が上昇傾向で、直近では合計で9割弱を占めています。

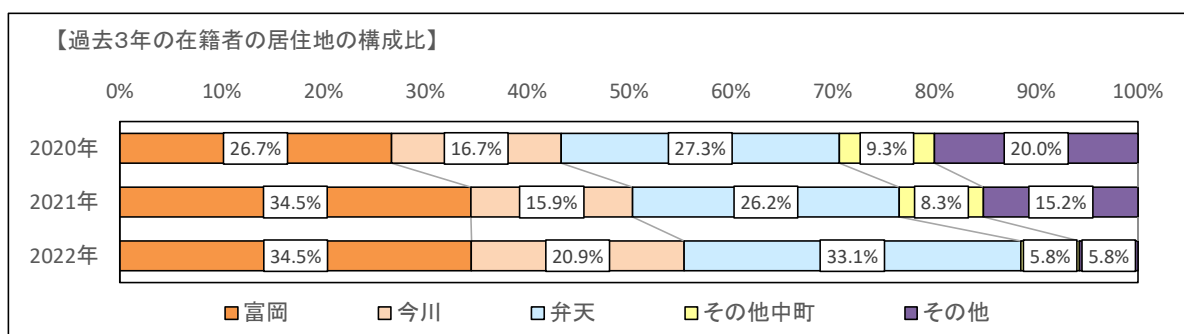
○年齢別 在籍者数・定員数の推移 (単位:人)

年齢	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	4年の増減数
0歳児	14	8	7	7	4	▲10
1歳児	29	29	29	29	29	0
2歳児	32	31	30	29	28	▲4
3歳児	27	27	31	27	28	1
4歳児	29	27	27	25	25	▲4
5歳児	30	27	26	28	25	▲5
①在籍者数計	161	149	150	145	139	▲22
②定員数	173	173	173	160	160	▲13
②－①	12	24	23	15	21	9
①／②	93.1%	86.1%	86.7%	90.6%	86.9%	—

○在籍者の居住地の推移 (単位:人)

地域	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	4年の増減数	22年構成比
元町	17	26	22	15	7	▲10	5.0%
中町	138	120	120	123	131	▲7	94.2%
新町	2	2	7	6	1	▲1	0.7%
市外	4	1	1	1	0	▲4	0.0%
合計	161	149	150	145	139	▲22	100.0%

東野	13	9	7	4	3	▲10	2.2%
富岡	49	44	40	50	48	▲1	34.5%
今川	27	23	25	23	29	2	20.9%
弁天	29	33	41	38	46	17	33.1%
海楽	4	3	2	4	1	▲3	0.7%
入船	1	1	1	0	1	0	0.7%
美浜	7	2	2	3	1	▲6	0.7%
舞浜	8	5	2	1	2	▲6	1.4%



⑤東野保育園

【立地】 中町 東野地区	住所	浦安市東野1-7-2
	開設・改修時期	建築年度:1989年（築34年）
	本棟の構造・規模	RC構造2階建て 延床面積:1,503.54㎡

- ・定員数に変化はありませんが、2022年に在籍者数は減少しています。
- ・そのため、在籍者比率も2021年までの100%近くから、2022年には89.8%まで低下しました。
- ・東野地区の次に、元町の堀江地区、富士見地区からの通園者が多く、直近で中町からの通園者は6割弱となっています。

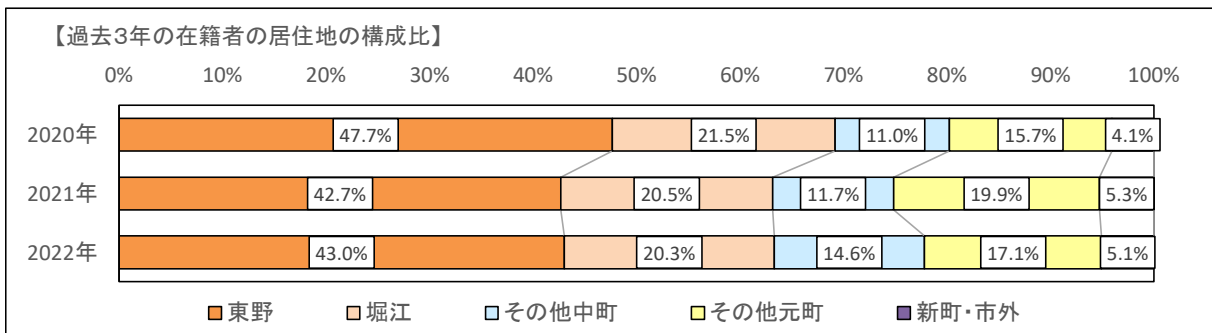
○年齢別 在籍者数・定員数の推移（単位：人）

年齢	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	4年の増減数
0歳児	17	18	14	17	8	▲9
1歳児	30	30	30	29	30	0
2歳児	32	32	32	32	32	0
3歳児	31	32	32	32	32	1
4歳児	32	32	32	29	29	▲3
5歳児	31	32	32	32	27	▲4
①在籍者数計	173	176	172	171	158	▲15
②定員数	176	176	176	176	176	0
②-①	3	0	4	5	18	15
①/②	98.3%	100.0%	97.7%	97.2%	89.8%	—

○在籍者の居住地の推移（単位：人）

地域	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	4年の増減数	22年構成比
元町	73	73	64	69	59	▲14	37.3%
中町	96	96	101	93	91	▲5	57.6%
新町	2	5	5	2	3	1	1.9%
市外	2	2	2	7	5	3	3.2%
合計	173	176	172	171	158	▲15	100.0%

東野	84	79	82	73	68	▲16	43.0%
富岡	3	3	3	2	3	0	1.9%
今川	1	1	1	0	1	0	0.6%
弁天	0	1	0	1	2	2	1.3%
海楽	7	10	12	13	13	6	8.2%
入船	0	0	0	0	1	1	0.6%
美浜	0	1	2	4	3	3	1.9%
舞浜	1	1	1	0	0	▲1	0.0%



⑥日の出保育園

【立地】 新町 日の出地区	住所	浦安市日の出2-11-1
	開設・改修時期	建築年度:1992年（築31年）
	本棟の構造・規模	RC構造2階建て 延床面積:1,576.95㎡

- ・定員数は2021年に若干減少しており、在籍者数は2021年にやや減少しましたが、2022年には回復しています。
- ・在籍者比率は概ね90%を超えており、2022年は92.3%となっています。
- ・日の出地区からの通園者が直近で7割弱と最も多いですが、他の新町地区からの通園者も増加傾向にあります。

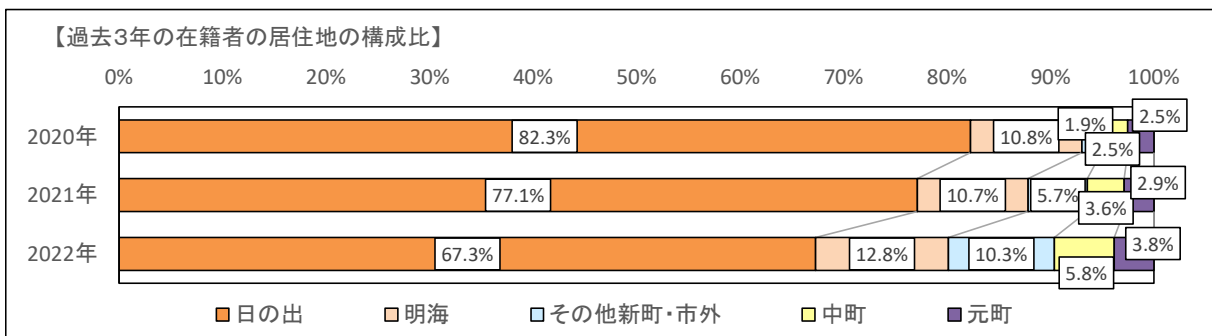
○年齢別 在籍者数・定員数の推移（単位：人）

年齢	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	4年の増減数
0歳児	13	12	6	5	7	▲6
1歳児	30	29	27	16	29	▲1
2歳児	31	32	32	30	28	▲3
3歳児	30	32	32	28	30	0
4歳児	29	31	31	31	31	2
5歳児	26	30	30	30	31	5
①在籍者数計	159	166	158	140	156	▲3
②定員数	173	173	173	169	169	▲4
②-①	14	7	15	29	13	▲1
①/②	91.9%	96.0%	91.3%	82.8%	92.3%	—

○在籍者の居住地の推移（単位：人）

地域	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	4年の増減数	22年構成比
元町	12	10	4	4	6	▲6	3.8%
中町	11	11	4	5	9	▲2	5.8%
新町	135	145	149	129	139	4	89.1%
市外	1	0	1	2	2	1	1.3%
合計	159	166	158	140	156	▲3	100.0%

高洲	3	3	2	6	14	11	9.0%
明海	11	15	17	15	20	9	12.8%
日の出	121	127	130	108	105	▲16	67.3%



⑦高洲保育園

【立地】 新町 高洲地区	住所	浦安市高洲2-3-4
	開設・改修時期	建築年度:1999年（築24年）
	本棟の構造・規模	RC構造2階建て 延床面積:2,556.17㎡

- ・定員数はほぼ横ばいですが、在籍者数は2022年にやや増加しています。
- ・在籍者比率は常に90%を超えていますが、2022年は96.6%と過去5年の中で最も高い水準まで上昇しました。大型集合住宅の立地による就学前児童数の増加が、その背景にあります。
- ・高洲地区からの通園者が8割弱を占め、比率も上昇傾向にあります。中町の今川地区からの通園者も増加傾向にあります。

○年齢別 在籍者数・定員数の推移（単位：人）

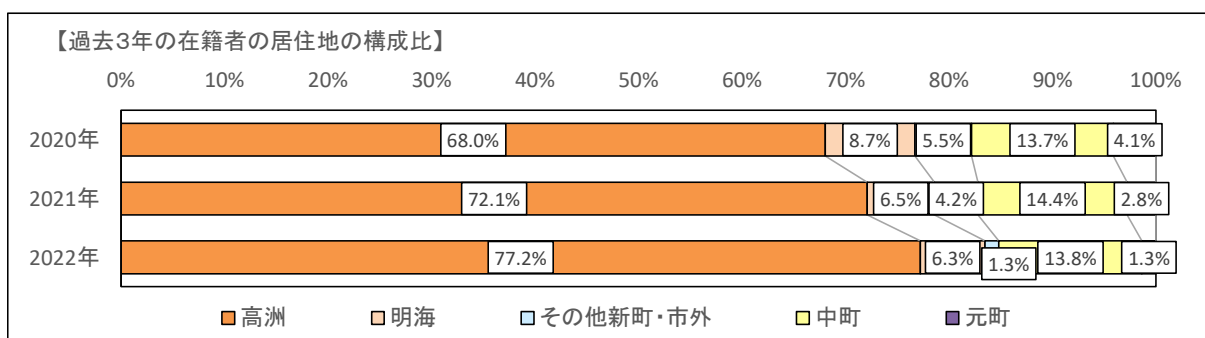
年齢	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	4年の増減数
0歳児	17	12	11	8	11	▲6
1歳児	37	39	39	38	39	2
2歳児	42	42	43	42	42	0
3歳児	37	41	42	43	42	5
4歳児	41	38	43	43	45	4
5歳児	34	41	41	41	45	11
①在籍者数計	208	213	219	215	224	16
②定員数	231	231	229	232	232	1
②-①	23	18	10	17	8	▲15
①/②	90.0%	92.2%	95.6%	92.7%	96.6%	—

○在籍者の居住地の推移（単位：人）

地域	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	4年の増減数	22年構成比
元町	9	12	9	6	3	▲6	1.3%
中町	21	26	30	31	31	10	13.8%
新町	177	175	180	175	189	12	84.4%
市外	1	0	0	3	1	0	0.4%
合計	208	213	219	215	224	16	100.0%

高洲	145	147	149	155	173	28	77.2%
明海	23	21	19	14	14	▲9	6.3%
日の出	9	7	12	6	2	▲7	0.9%

今川	9	11	13	15	17	8	7.6%
----	---	----	----	----	----	---	------



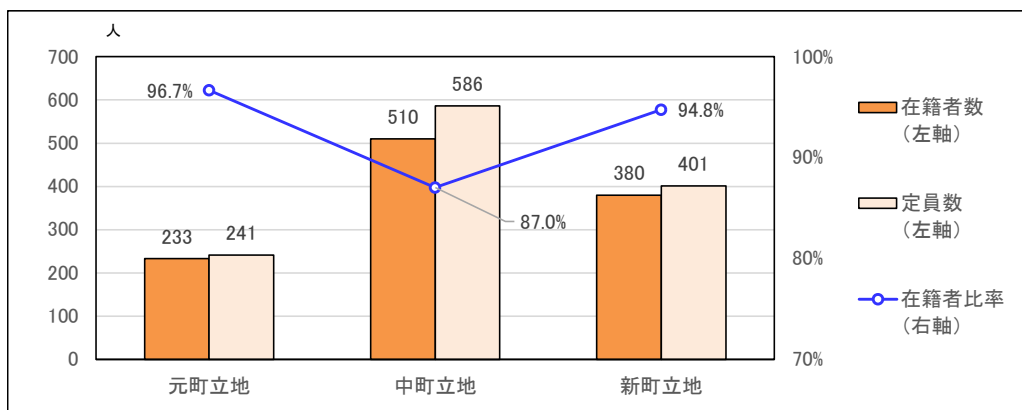
(補足 1) 7園の合計と3地域別・園別の比較 (2022年)

- ・2022年時点で、市立7保育園合計の定員数は1,228人、在籍者数は1,123人で、両者の差異は105人、定員に対する在籍者比率は91.4%となっています。
- ・立地する保育園の地域別で見ると、各地域とも在籍者数は定員数を下回っていますが、「定員数－在籍者数」の数値は中町に立地する園が76人と最も多くなっています。「在籍者数／定員数」の比率も中町は87.0%で、元町(96.7%)、新町(94.8%)よりも低くなっています。

◇7園合計・保育園立地地域別 在籍者数・定員数 (単位:人)

	元町立地	中町立地	新町立地	合計
①在籍者数計	233	510	380	1,123
②定員数	241	586	401	1,228
②－①	8	76	21	105
①／②	96.7%	87.0%	94.8%	91.4%

◇保育園立地地域別 在籍者数、定員数、在籍者比率



- ・7つの園ごとに「定員数－在籍者数」を比較すると、中町に立地する入船保育園(+37人)、富岡保育園(+21人)で特に多くなっています。東野保育園も含め、中町の3園の在籍者比率はいずれも80%台で(入船:85.2%、富岡:86.9%、東野:89.8%)、相対的にみて他の地域の園よりも入所の余裕度が高いといえます。
- ・元町と新町の4園の在籍者比率はともに9割以上で、特に猫実保育園(97.2%)、高洲保育園(96.6%)、当代島保育園(96.2%)では、入所のひっ迫度合いが極めて高い状況にあります。

◇市立7園別 在籍者数・定員数の比較 (2022年) (単位:人)

	当代島 保育園	猫実 保育園	入船 保育園	富岡 保育園	東野 保育園	日の出 保育園	高洲 保育園	合計
立地	元町	元町	中町	中町	中町	新町	新町	—
①在籍者数	128	105	213	139	158	156	224	1,123
②定員数	133	108	250	160	176	169	232	1,228
②－①	5	3	37	21	18	13	8	105
①／②	96.2%	97.2%	85.2%	86.9%	89.8%	92.3%	96.6%	91.4%

(補足2) 7園合計の時系列の動き

- ・7園合計の定員数は4年間で42人増加しました。建て替えを行った入船保育園における75人の増加が大きく寄与しており、他では定員数が減少となっている保育園が多くなっています。
- ・一方で、在籍者数は4年間で6人減少しました。上記のとおり建て替えて定員数が増加した入船保育園と、新町で子育て層の流入が多かった高洲保育園で増加していますが、その他の5園では減少となっています。
- ・この結果、定員数に対する在籍者数の比率は、2018年の95.2%から2022年には91.4%へと3.8ポイント低下しています（この間、在籍者比率が上昇したのは、新町の高洲保育園と日の出保育園の2園のみ）。

◇時系列の在籍者数・定員数の推移（単位：人）

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	18～22年の 4年の増減数
①在籍者数計	1,129	1,125	1,117	1,106	1,123	▲6
②定員数	1,186	1,186	1,184	1,228	1,228	42
②－①	57	61	67	122	105	48
①／②	95.2%	94.9%	94.3%	90.1%	91.4%	—

(補足3) 保育園立地地域別（3地域別）在籍者の居住地（2022年）

- ・基本的に各地域の保育園の在籍者は、その保育園が立地している地域に居住している傾向が強く、特に元町では94.4%を占めています。新町は86.3%、中町は68.2%となっています。
- ・中町に立地する保育園へ通園する児童の居住地では、新町が16.1%、元町が13.9%と相対的に比率が高くなっています。新町3地区から比較的余裕がある入船保育園へ、元町（主に富士見、堀江地区）から東野保育園への通園者が一定程度いることが要因です。

◇保育園立地地域別 在籍者の居住地（単位：人）

		元町立地2園		中町立地3園		新町立地2園		合計
①在籍者数 (人)	合計	233	100.0%	510	100.0%	380	100.0%	1,123
	元町居住	220	94.4%	71	13.9%	9	2.4%	300
	中町居住	12	5.2%	348	68.2%	40	10.5%	400
	新町居住	0	0.0%	82	16.1%	328	86.3%	410
	市外居住	1	0.4%	9	1.8%	3	0.8%	13
②定員数 (人)		241		586		401		1,228
②－① (人)		8		76		21		105
①／②		96.7%		87.0%		94.8%		91.4%

※私立も含む全保育園の通園状況については、次ページ以降で詳細に揭示

4. 保育園在籍児童の居住地区と通園地区の分析

2022年4月現在、市内には9つの市立認可保育所（うち2園は公設民営）、11の市立幼稚園型認定こども園、34の私立認可保育所などの保育施設が立地しています。市立認可保育所・市立幼稚園型認定こども園の立地は下記図表のとおりです。

ここでは、市内のどの地区に居住する児童が（＝発地）、どの地区の保育園へ通園しているか（＝着地）について、2022年のデータを用いて分析します。

◇市立認可保育所・市立幼稚園型認定こども園の位置図



公立認可保育所		公立幼稚園型認定こども園	
①	当代島保育園	A	若草認定こども園
②	猫実保育園	B	みなみ認定こども園
③	入船保育園	C	神明認定こども園
④	富岡保育園	D	北部認定こども園
⑤	東野保育園	E	見明川認定こども園
⑥	日の出保育園	F	堀江認定こども園
⑦	高洲保育園	G	美浜南認定こども園
⑧	弁天保育園(公設民営)	H	入船南認定こども園
⑨	浦安駅前保育園(〃)	I	舞浜認定こども園
		J	美浜北認定こども園
		K	明海認定こども園

(1) 「通園児童の居住地区」と「保育園の立地地区」の全体像

【マトリックスの見方】

○横軸は「発地基準」。「どの地区の児童が、どの地区の保育園へ通っているか」を示すもの

・例：猫実地区に居住し保育園に通園している児童は232人。うち同地区内の保育園に通園している児童は130人、当代島地区に通園している児童は25人。

○縦軸は「着地基準」。「どの地区の保育園に、その地区の児童が通っているか」を示すもの

・例：猫実地区に立地している保育園に通園している児童は432人。うち同地区内から通園している児童は130人、当代島地区から通園している児童は24人。

・地区に立地している保育園の定員数は528人。通園者は432人なので、定員に対する比率(432人/528人)は81.8% (同地区の保育園全体では18.2%の定員割れ)

・地区に居住している保育園通園者は232人、地区に立地している保育園への通園者は432人で、同地区では200人の児童の流入超過。流入率は+46.3% (200人/432人)

◇「通園児童の居住地区」と「保育園の立地地区」のマトリックス (2022年)

		通園保育園所在地(どこに通園しているか) 【着地】																居住地区別 通園者計
		猫実	当代島	北栄	堀江	富士見	東野	富岡	今川	弁天	海楽	入船	美浜	舞浜	高洲	明海	日の出	
児童の居住地(どこに居住しているか)	猫実	130	25	38	29	2	5	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	232
	当代島	24	154	58	5	1	1	0	0	2	0	1	0	0	1	0	0	247
	北栄	104	84	303	15	0	3	3	0	2	0	7	1	0	1	4	2	529
	堀江	77	17	19	256	34	36	1	0	6	0	2	2	0	0	1	2	453
	富士見	13	4	4	103	271	47	3	0	4	0	2	0	10	1	0	2	464
	東野	10	2	4	12	51	85	5	0	12	0	7	4	1	1	7	0	201
	富岡	3	0	0	0	2	4	52	0	20	0	14	6	0	3	2	0	106
	今川	5	0	2	0	1	1	33	0	5	0	44	6	0	18	13	0	128
	弁天	2	0	0	1	14	6	49	0	75	0	10	2	0	5	7	0	171
	海楽	55	2	47	9	0	13	1	0	0	0	33	6	0	3	3	0	172
	入船	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	160	6	0	3	8	6	187
	美浜	2	0	0	0	0	3	3	0	4	0	158	43	0	0	8	3	224
	舞浜	0	0	0	1	12	0	2	0	10	0	3	0	5	1	3	0	37
	高洲	1	0	1	6	2	3	1	0	4	0	58	4	0	192	93	14	379
	明海	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	61	0	0	22	154	20	258
	日の出	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	87	2	0	3	58	105	258
	鉄鋼通り	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	市外	4	9	15	4	1	5	0	0	0	0	5	0	0	2	1	2	48
	園所在地別 在籍者計	432	297	491	441	391	214	155	0	147	0	655	82	16	256	362	156	4,095
定員数	528	411	602	506	438	235	179	0	156	0	731	125	25	264	389	169	4,758	
定員比	81.8%	72.3%	81.6%	87.2%	89.3%	91.1%	86.6%	—	94.2%	—	89.6%	65.6%	64.0%	97.0%	93.1%	92.3%	86.1%	
在籍者-居住者	200	50	▲38	▲12	▲73	13	49	▲128	▲24	▲172	468	▲142	▲21	▲123	104	▲102	49	
流入率	46.3%	16.8%	-7.7%	-2.7%	-18.7%	6.1%	31.6%	—	-16.3%	—	71.5%	-173.2%	-131.3%	-48.0%	28.7%	-65.4%	1.2%	

※赤色枠:100人以上、オレンジ色枠:50人以上、黄色枠:30人以上、緑色枠:15人以上の移動。黒枠内白字:地区内への通園者数

(参考) 居住地区別 通園保育園立地地区の構成比

		通園保育園所在地(どこに通園しているか) 【着地】																通園者比率	居住地区別
児童の居住地(どこに住んでいるか) 【発地】		猫実	当代島	北栄	堀江	富士見	東野	富岡	今川	弁天	海楽	入船	美浜	舞浜	高洲	明海	日の出		
	猫実	56.0%	10.8%	16.4%	12.5%	0.9%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	当代島	9.7%	62.3%	23.5%	2.0%	0.4%	0.4%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	北栄	19.7%	15.9%	57.3%	2.8%	0.0%	0.6%	0.6%	0.0%	0.4%	0.0%	1.3%	0.2%	0.0%	0.2%	0.8%	0.4%	0.4%	100.0%
	堀江	17.0%	3.8%	4.2%	56.5%	7.5%	7.9%	0.2%	0.0%	1.3%	0.0%	0.4%	0.4%	0.0%	0.0%	0.2%	0.4%	0.4%	100.0%
	富士見	2.8%	0.9%	0.9%	22.2%	58.4%	10.1%	0.6%	0.0%	0.9%	0.0%	0.4%	0.0%	2.2%	0.2%	0.0%	0.4%	0.4%	100.0%
	東野	5.0%	1.0%	2.0%	6.0%	25.4%	42.3%	2.5%	0.0%	6.0%	0.0%	3.5%	2.0%	0.5%	0.5%	3.5%	0.0%	0.0%	100.0%
	富岡	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	3.8%	49.1%	0.0%	18.9%	0.0%	13.2%	5.7%	0.0%	2.8%	1.9%	0.0%	0.0%	100.0%
	今川	3.9%	0.0%	1.6%	0.0%	0.8%	0.8%	25.8%	0.0%	3.9%	0.0%	34.4%	4.7%	0.0%	14.1%	10.2%	0.0%	0.0%	100.0%
	弁天	1.2%	0.0%	0.0%	0.6%	8.2%	3.5%	28.7%	0.0%	43.9%	0.0%	5.8%	1.2%	0.0%	2.9%	4.1%	0.0%	0.0%	100.0%
	海楽	32.0%	1.2%	27.3%	5.2%	0.0%	7.6%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	19.2%	3.5%	0.0%	1.7%	1.7%	0.0%	0.0%	100.0%
	入船	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	85.6%	3.2%	0.0%	1.6%	4.3%	3.2%	0.0%	100.0%
	美浜	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	1.3%	0.0%	1.8%	0.0%	70.5%	19.2%	0.0%	0.0%	3.6%	1.3%	0.0%	100.0%
	舞浜	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	32.4%	0.0%	5.4%	0.0%	27.0%	0.0%	8.1%	0.0%	13.5%	2.7%	8.1%	0.0%	0.0%	100.0%
	高洲	0.3%	0.0%	0.3%	1.6%	0.5%	0.8%	0.3%	0.0%	1.1%	0.0%	15.3%	1.1%	0.0%	50.7%	24.5%	3.7%	0.0%	100.0%
	明海	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	23.6%	0.0%	0.0%	8.5%	59.7%	7.8%	0.0%	100.0%
	日の出	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.8%	0.0%	33.7%	0.8%	0.0%	1.2%	22.5%	40.7%	0.0%	100.0%
	市外	8.3%	18.8%	31.3%	8.3%	2.1%	10.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.4%	0.0%	0.0%	4.2%	2.1%	4.2%	0.0%	100.0%
	園所在地別通園者比率	10.5%	7.3%	12.0%	10.8%	9.5%	5.2%	3.8%	0.0%	3.6%	0.0%	16.0%	2.0%	0.4%	6.3%	8.8%	3.8%	0.0%	100.0%

※赤色:50%以上、オレンジ色:30%以上50%未満、黄色:15%以上30%未満

【マトリックスの見方】

○横軸は、「その地区の児童が、どの地区の保育園へ通っているか」の構成比を示すもの

- ・例：猫実地区から地区内の保育園に通園している児童は、地区居住者の56.0%
猫実地区から当代島地区の保育園に通園している児童は、地区居住者の10.8%。

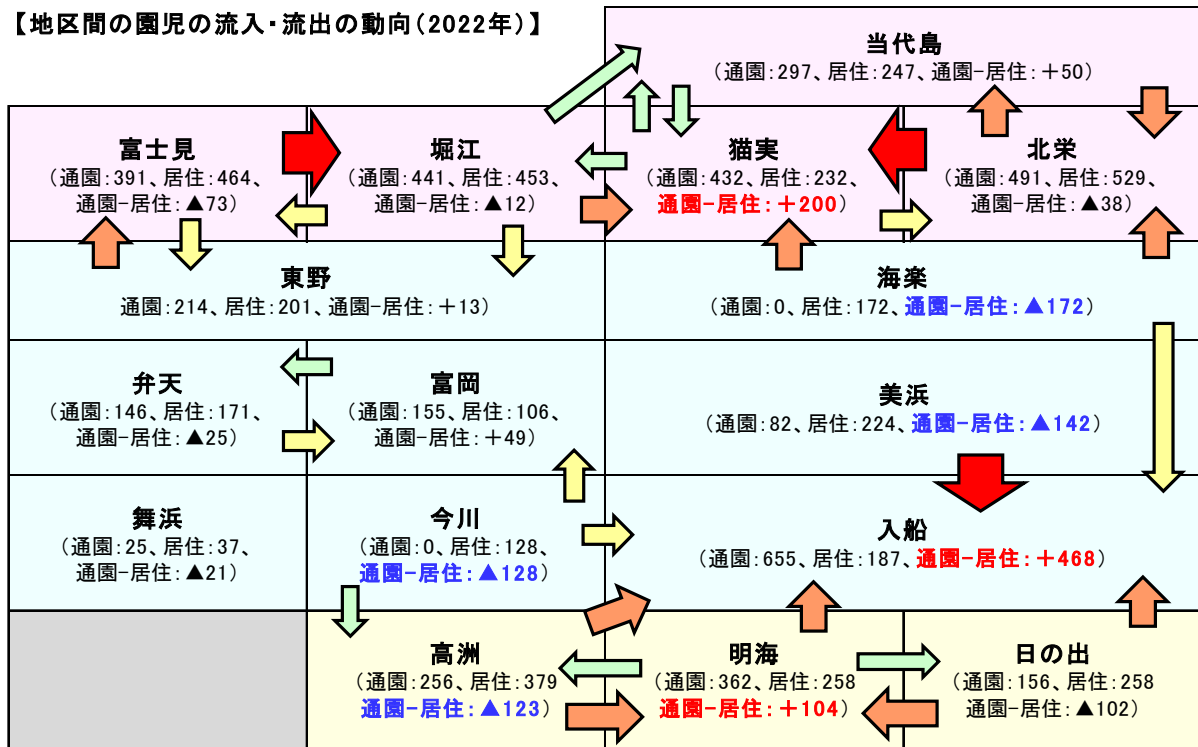
(注) 横軸の合計を100%とした表であるため、それぞれの縦軸の比率は意味を持たない

※最下段の「園所在地別通園者比率」は、全保育園通園者のうち、各地区の保育園に通園している児童の構成比

- ・全園児のうち16.0%が、入船地区に立地する保育園に通園している(最も多い)
- ・今川地区と海楽地区には保育園がないため、通園している園児はいない

(2) 地区間の流入・流出の状況

【地区間の園児の流入・流出の動向(2022年)】



※赤色矢印:100人以上の移動、オレンジ色矢印:50~99人の移動、黄色矢印:30~49人の移動、緑色矢印:15~29人の移動

・その他で「堀江⇒北栄:19人」「北栄⇒堀江:15人」の移動あり(隣接していない地区間の移動で、図表が煩雑になるため省略)

【流入が多い地区】

- ・通園者の地区外からの流入数が多い地区【図表上の赤字】としては、入船地区(+468人)、猫実地区(+200人)、明海地区(+104人)があげられます。いずれも隣接する地区からの移動がほとんどです。これらの地区では、地区に居住する保育園児数より立地する保育園の定員数の方が多いため、流入超過数となっています。

【流出が多い地区】

- ・通園者の地区外への流出数が多い地区【図表上の青字】としては、海楽地区(▲172人)、美浜地区(▲142人)、今川地区(▲128人)、高洲地区(▲123人)などがあげられます。

やはりいずれも隣接する地区からの移動がほとんどです。これらの地区は、地区内に居住する通園者と比較して地区内立地保育園の定員数が少ない(海楽地区と今川地区には、そもそも保育園が存在しない)ため、流出超過数が多くなっています。

(3) 3地域間の流入・流出の状況

◇3地域別 流入超過率、定員充足率

	園児数	元町	中町	新町	市外	計
A	地域内に立地する園の在籍者数	2,052	1,269	774	0	4,095
B	地域内に居住する通園児童数	1,925	1,226	895	48	4,094
C	流入超過数 (A-B)	127	43	▲ 121	▲ 48	1
D	流入超過率 (C/B)	6.6%	3.5%	-13.5%	—	—
E	地域内に立地する園の定員数	2,485	1,451	822	0	4,758
F	定員数－在籍者数(E-A)	433	182	48	—	—
G	定員充足率(A/E)	82.6%	87.5%	94.2%	—	86.1%

※「B」には、市外から市内の保育園に通園する児童48人が含まれる

①元町地域

A	B	C	D	E	F	G
地域内に立地する園の在籍者数	地域内に居住する通園児童数	流入超過数 (A-B)	流入超過率 (C/B)	地域内に立地する園の定員数	定員数－在籍者数 (E-A)	定員充足率 (A/E)
2,052	1,925	127	6.6%	2,485	433	82.6%

○元町地域全体では、地域に居住する保育園通園児童数 1,925 人に対して、地域内に立地する保育園の在籍児童数が 2,052 人で、127 人と大幅な流入超過となっています（流入超過率+6.6%）。

○地域全体の保育所の定員数は 2,485 人で、在籍者数との差異は 433 人です。定員充足率は 82.6%であり、他地域と比較して、やや余裕があるといえます。

（なお、元町地域の市立保育園の定員充足率は新町と並んで高い水準でした。保育所全体でみると低い数値となっているということは、私立の保育園に通園する児童が少ないためと考えられます。）

- ・元町地域内の地区別でみると、猫実地区と当代島地区が流入超で、その他 3 地区が流出超となっています。猫実地区には北栄地区から 104 人、堀江地区には富士見地区から 103 人と 100 人超の園児が通園しています（赤い矢印）。
- ・また元町地域は、「A 地区から B 地区へ」と「B 地区から A 地区へ」などの双方向の動きが多く、地域内の移動が多いことが特徴だといえます。

②中町地域

A	B	C	D	E	F	G
地域内に立地する園の在籍者数	地域内に居住する通園児童数	流入超過数 (A-B)	流入超過率 (C/B)	地域内に立地する園の定員数	定員数－在籍者数 (E-A)	定員充足率 (A/E)
1,269	1,226	43	3.5%	1,451	182	87.5%

○中町地域全体では、居住保育園通園児童数 1,226 人に対して、立地保育園の在籍者数は 1,269 人です。若干の流入超過（+43 人）で、流入超過率+3.5%となっています。

○地域全体の定員数 1,451 人と在籍者数との差異は 182 人です。定員充足率は 87.5%で、市平均（86.1%）と近い水準にあります。

- ・中町域内の地区別で見ると、入船地区が 468 人と大幅な流入超で、富岡地区と東野地区がやや流入超過、その他 5 地区は流出超過です。
- ・入船地区は、地区内に居住する保育園通園者が少ない（187 人）にもかかわらず、保育園の定員数が非常に多く（731 人。従前は通園する居住者が多かったと考えられる）、そのため、他地区からの流入も含めて通園者が多くなっています（655 人）。
- ・入船地区への主な流入元は、隣接する美浜地区（在住通園者数 224 人に対して定員数が 125 人と少ない）と、保育園通園者の増加により自らの地区内の保育園に収容することが難しくなっている新町の 3 地区です。美浜地区からの流入数は 158 人、新町 3 地区からの流入数は合計で 206 人となっています。
- ・また入船地区には、保育園が立地しない隣接する今川地区からも 44 人と、一定数が流入しています。

③新町地域について

A	B	C	D	E	F	G
地域内に立地する園の在籍者数	地域内に居住する通園児童数	流入超過数 (A-B)	流入超過率 (C/B)	地域内に立地する園の定員数	定員数－在籍者数 (E-A)	定員充足率 (A/E)
774	895	▲121	-13.5%	822	48	94.2%

○新町地域全体の居住保育園通園児童数は 895 人、立地保育園の在籍者数は 774 人で、他の 2 地域とは異なり、地域外の保育園に通園している児童の方が多い「流出超過」となっています。121 人が地域外の保育園に通園しており、流入超過率は▲13.5%です。

○地域全体の定員数は 822 人で、在籍者数との差異は 48 人とわずかです。定員充足率は 94.2%で、3 地域の中で最もひっ迫度が高くなっています。

- ・新町の 3 地区は、基本的に通園在住者と比較して、保育施設定員数が不足気味で、各地区に居住する児童は、それぞれ定員に余裕がある入船地区へ 50 人以上が通園しています。新町における近年の人口増加傾向により、地区内の保育園でニーズを十分に吸収しきれないといえます。
- ・高洲、日の出の両地区は、保育園に通園する居住者数が地区内保育所の定員数を上回っており、両地区の保育園児はともに流出超（高洲地区：▲123 人、流入超過率▲48.0%、日の出地区：▲102 人、流入超過率▲65.4%）となっています。
- ・ただし、地区内に在園者数が 200 人以上の私立の幼保連携型認定こども園が立地している明海地区は例外で、高洲、日の出両地区を中心に周辺地区からの流入が多く、流入超（+104 人、流入超過率+28.7%）となっています。

2章 市立保育園の配置等に関する望ましいあり方について

2021年3月にとりまとめた「浦安市未就学児の保育・教育環境のあり方基本方針」（以下「基本方針」とする）において、保育・教育環境についての現状における課題と今後の方向性を提示しました。その内容は、以下のとおりです。

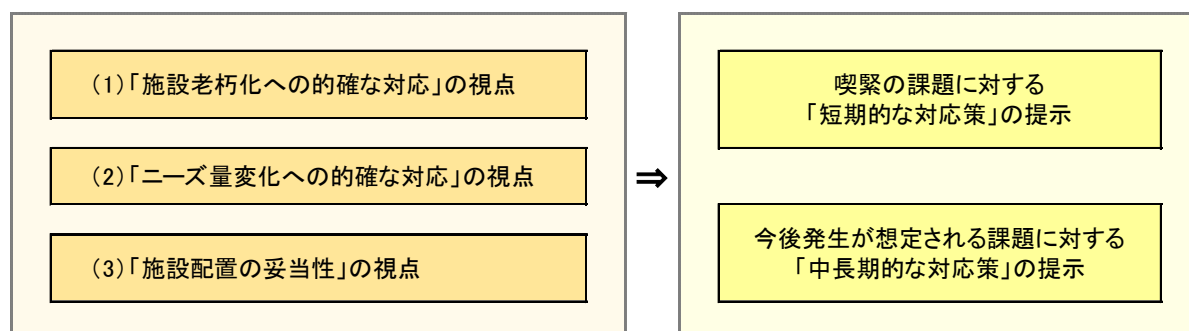
◇「課題」「今後の方向性」の整理

No.	「課題」	⇒	No.	課題を解決するための「今後の方向性」
1	将来における保育施設の量的なミスマッチ	⇒	①	将来を見据えた的確な保育施設の整備
2	市民ニーズに合致した施設配置の必要性	⇒	②	保育施設の適正配置の検討
3	保育施設における質の維持・向上	⇒	③	保育施設における更なる質の向上
4	コスト増加の抑制の必要性	⇒	④	効率的な施設運営の推進
5	潜在的ニーズへの対応強化の必要性	⇒	⑤	多様なニーズに対応する 地域子ども・子育て支援事業の充実

5つの「今後の方向性」のうち、本調査のテーマである「市立保育園の配置等」に関連するものは「①将来を見据えた的確な保育施設の整備」と「②保育施設の適正配置の検討」の2つです。

基本方針では、それぞれの方向性を実現するための具体的な方策が掲げられていますが、その中で今回のテーマに関わるものを抽出すると、①では「施設老朽化への的確な対応」と「ニーズ量変化への的確な対応」、②では「施設配置の妥当性」だといえます。以下でこの3つの視点から検討を行い、市内の市立保育園における喫緊の課題に対する「短期的な対応策」、及び今後発生が想定される課題に対する「中長期的な対応策」を提示していきます。

◇市立保育園の方向性を考える際の視点とそこから導き出す対応策のイメージ図



(1) 「施設老朽化への的確な対応」の視点からみた対応策

本市では、1970年代後半から80年代にかけて、大規模な住宅開発の進行に伴ってファミリー層の転入が顕著にみられたことから、未就学児のための保育施設が集中的に整備されました。その後、個々の施設の老朽化度合いに応じて、建て替え、大規模改修等の対応を行ってきましたが、建築後相当な年数を経過した施設も残っています。

老朽化により実際に運営に支障を生じている施設もあり、適切な保育の実践、園児の安全性という観点からみても、建て替え等の対策を行うことは喫緊の課題といえます。

【短期的な対応策】

○ 老朽化が進展している保育園への緊急的な対応の推進

2021年3月に策定された「浦安市未就学児保育・教育施設長寿命化計画」では、建築後の期間に応じた各施設の計画的な対策の実施が求められています。「施設の劣化状況に合わせ、計画的に順次対策を講じていく」という考え方からすると、老朽化が進み、保育の現場で支障が生じている施設から、極力早期に対応を進めていく必要があるといえます。

※開設後約40年が経過し、市内の市立保育園の中で最も老朽化が進んでいる富岡保育園については、今回移転・建て替えを行う方向で検討を行っていきます。詳細については3章にて提示します。

【中長期的な対応策】

今後、自治体の財政状況がますます厳しくなっていくことが予想されるなかで、保育園の老朽化対策を進めるうえで、コストの削減という考え方が当然求められます。また、少子化の進行により長いスパンで見ると子どもの数が減少し、保育園のニーズ量が減少していくであろうという要素も含めて考えていく必要があります。施設の老朽化という課題への対応策として、中長期的には以下のような取組の検討が必要といえます。

① 耐用年数到達時までの継続的な部分改修の実施

老朽化等で対応が必要な箇所が生じた場合のみ、その都度必要な部分改修を実施することで施設の延命化を図っていき、耐用年数到達時には閉園とするという手法も考えられます。

建て替えや大規模改修と比較すると、部分改修はコストを抑制できます。また中長期的にみるとニーズ量は減少することが予想されるため、閉園となった時点の在籍者についても、近隣の保育園で受入が可能だと考えられます。

② 民営化を想定した大規模改修の実施

市立保育園を民営化することにより、児童は同等の保育サービスを受けつつ、自治体は保育園の運営費を他の保育事業等に充当することができます。両者にメリットがあることから、全国の自治体で民営化への移行が進行しています。

仮に今でなくても、近い将来に民営化することができれば、自治体としてそれ以降の施設の維持管理コストを削減することができます。将来的に民営化へ移行することを想定した市立保育園の大規模改修は、現実的に考える対応策だといえます。

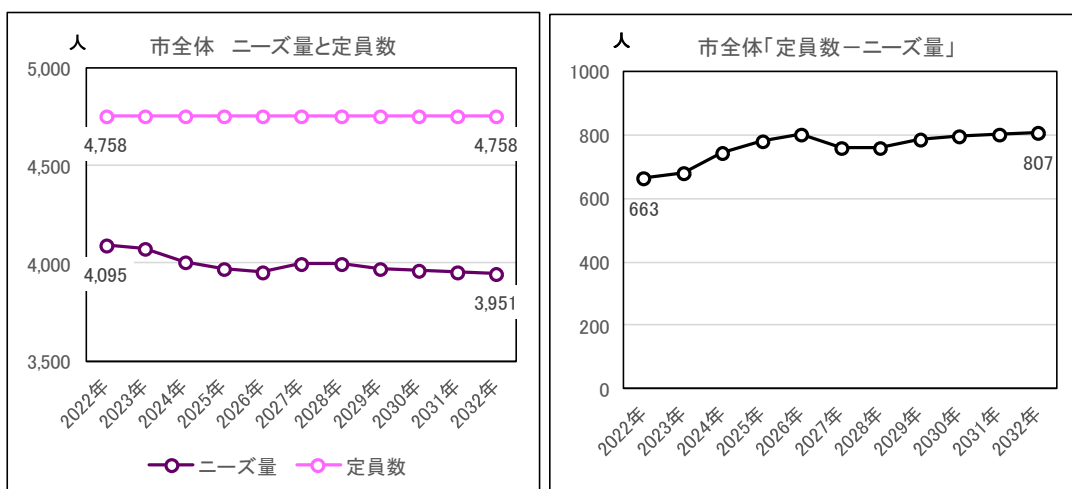
これらの手法は、保育園の立地環境や、その時点での在籍者数などの状況によって、妥当なものかどうかの判断が必要となります。妥当であり、かつ諸条件を考慮して可能と判断された場合は、施設の老朽化時の対応策として導入を検討していきます。

(2) 「ニーズ量変化への的確な対応」の視点から見た対応策

「認可保育所待機児童ゼロ維持検討業務」で実施した推計によると、本市全体の保育ニーズ量は、今後若干の減少傾向で推移します。定員数が現状のままだと仮定すれば、定員数と在籍者数の差異は2022年の663人から10年後の2032年には807人に広がり、在籍者比率も86.1%から83.0%へ低下します。

こうしたニーズ量の変化、及び今後の私立保育園では在籍児童数の減少・経営悪化による突然の閉園の可能性もあること等を考え合わせると、市立保育園の定員数のあるべき姿について、再度検討していく必要があるといえます。

◇市全体の保育ニーズ量と定員数、「定員数－ニーズ量」の推移



(注) ここでの推計は、保育ニーズ量の設定と、そこから実際の保育園の定員数の増減を判断する材料とすることを目的とした仮推計であり、2022年12月に市が行った推計をベースとして、移動率等について情勢を加味し、より現実的な仮定設定を行い実施しました。

【短期的な対応策】

○市立保育園の定員数見直しの検討

市全体では今後10年で定員割れの幅が拡大していくという推計結果が出ています。待機児童が発生している時期に誘致を進めてきた私立保育園に対して、定員数削減を要請することは難しいと考えられることから、保育園全体の定員数の妥当性を考えると、市立保育園の定員数の削減を検討していく必要があります。

ただしその場合、保育の質を維持していくことが前提条件となります。今後は、保育の質を維持していく中で、また現在実施している弾力定員との関係も考慮に入れながら、状況に応じて定員数の削減を検討していきます。

【中長期的な対応策】

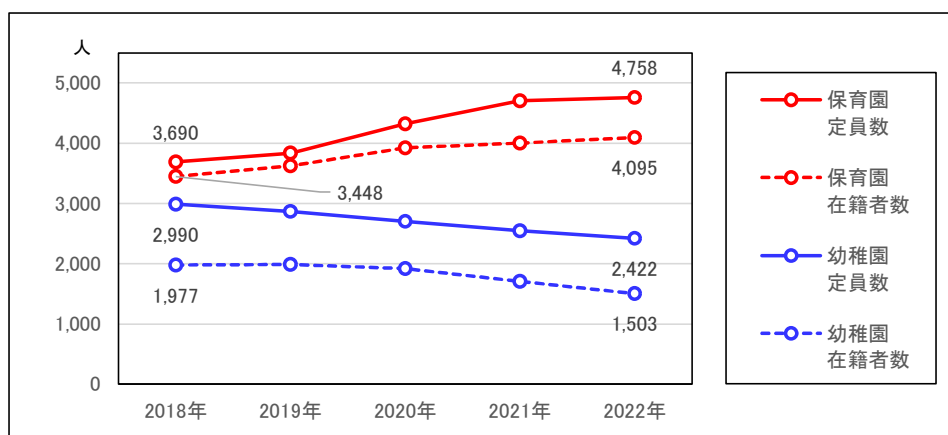
就学前児童向け施設の在籍状況についての現状をみると、保育園よりも幼稚園で定員割れの比率が高くなっています（2022年時点の在籍者比率 保育園：86.1%、幼稚園：62.1%）。ニーズへの的確な対応という視点からみると、中長期的な対応策の1つとしては、以下のようことが考えられます。

○保育園と幼稚園の両方のニーズを踏まえた施設設置の検討

保育園と幼稚園のニーズ量、特に幼稚園のニーズ量が現状でも低く、また低下傾向が続いていることを考慮すると、市として市立の就学前児童施設全体のあり方についても議論していく必要があります。

対応策として、例えば保育園と幼稚園の両方のニーズを満たすような施設の設置が考えられます。実現までのハードルは高いかもしれませんが、経営資源の有効活用という面も含めて、俯瞰的な見地からこのような取組についても検討していく必要があるといえます。

◇保育園と幼稚園の定員数と在籍者数の過去の推移



(3) 「施設配置の妥当性」の視点からみた対応策

本市の市立保育園（公設民営の2園も含む）は、市内各地域における就学前児童数の増加基調に合わせて整備を進めていった結果、現在は元町に3園、中町に4園、新町に2園が立地しています。また市立の幼稚園型認定こども園は、元町に5園、中町に5園、新町に1園が立地しており、全体的にみると元町と中町で多く、新町で少ない傾向がみられます。

一方、2022年時点において3地域それぞれに居住する保育園児がどの地域の保育園に通園していくかをみると下記図表のようになります。自らの地域の園の比率が高いことは当然ですが、中町の園児の19.5%が元町へ、新町の園児の25.1%が中町へ通園していることが目立っています。

【短期的・中長期的な対応策】

園児の通園の利便性という面からすると、「居住地により近い園への通園」という方向が求められます。(2) でみたニーズ量の今後の変化を踏まえて、今後は短期的にも、また中長期的にも、施設の適正配置に向けて、以下のような方向性が必要と考えられます。

○ 園児が通園しやすい適正な施設配置

中町から元町の保育園へ、新町から中町の保育園へ通園する児童が多いという現状があります。当初は各保育園をニーズが多い場所に設置していきましたが、その後の各地域での就学前児童数の変化、ニーズ量の変化によって、こうした居住地と通園地のミスマッチが生じているものと考えられます。

様々な要因からやむを得ない場合もあるでしょうが、基本的にはそれぞれの園児が居住地に近い保育所に通うことが望ましいといえます。居住地と通園地のミスマッチの解消、保育園の適正配置という観点から、今後は私立も含めて、各施設をできるだけ多くの園児が通いやすい配置に段階的に修正していく必要があります。なお、本市では幼稚園でも自宅から遠方の園に通園せざるを得ないケースもみられます。就学前児童施設全体の利便性という視点から、幼稚園に関しても通園しやすい配置を検討していく必要があります。

ただし、各保育園や幼稚園には長年の地域との結びつきがあります。今後、適正配置のために必要な施設の移転や統合等を行っていく場合には、地域の理解を十分に得ながら進めていくことが必須の条件となります。

◇3 地域別 居住園児の通園先地域

	総園児数	元町の園へ	中町の園へ	新町の園へ
	元町居住園児	1,925	1,770	141
	100.0%	91.9%	7.3%	0.7%
	総園児数	元町の園へ	中町の園へ	新町の園へ
	中町居住園児	1,227	239	893
	100.0%	19.5%	72.8%	7.7%
	総園児数	元町の園へ	中町の園へ	新町の園へ
	新町居住園児	896	10	225
	100.0%	1.1%	25.1%	73.8%

3章 富岡保育園の建て替えについて

富岡保育園は、老朽化の度合いから早期の対応策が必要です。ここでは、前述の3つの視点からその妥当性及び方向性についての考察を行います。

(1) 「施設老朽化への的確な対応」の視点

市内7つの市立保育園の中で、築後あるいは大規模改修・建て替え後の経過年数が最も長い保育園は富岡保育園です。1983年に建築された同保育園は2023年3月で40年が経過します。これまでもできる限りの施設修繕を行い、維持管理に努めてきましたが、近年老朽化の進行が目立つようになってきており、保護者から改善を望む声もあがっています。

「浦安市未就学児保育・教育施設長寿命化計画」に掲げられている「施設の劣化状況に合わせ、計画的に順次対策を講じていく」という考え方からすると、対応の優先度が最も高い施設は富岡保育園です。「施設老朽化への的確な対応」という視点から、富岡保育園への対応は喫緊の課題だといえます。

◇市立保育園の建築・大規模改修・建て替え年度と経過年数（経過年数が長い順）

保育園	建築・大規模改修・建て替え時期	経過年数
富岡保育園	建築年度:1983年	40年
東野保育園	建築年度:1989年	34年
日の出保育園	建築年度:1992年	31年
当代島保育園	建築年度:1973年 大規模改修実施年度:1997年	26年
高洲保育園	建築年度:1999年	24年
猫実保育園	建築年度:1979年 大規模改修実施年度:2014年	9年
入船保育園	建築年度:1980年 建て替え実施年度:2021年	2年

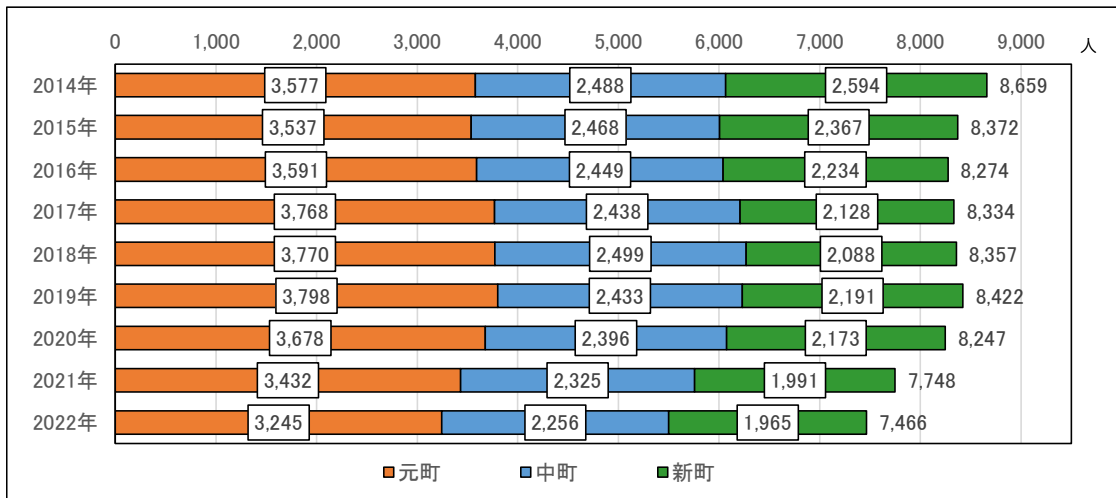
【結論】

○富岡保育園は、建築後約40年が経過し老朽化が進んでおり、対応策を検討していく必要がある。

(2) 「ニーズ量変化への的確な対応」の視点

本市の就学前児童数は、新型コロナウイルスの影響もあり、2020年以降大きく減少しました。今後は、出生数低下基調の緩和や転入増加が見込まれるため、減少傾向は弱まると考えられますが、2022年以降の数年は、2020～22年に減少した児童の層が0～5歳にとどまるため、就学前児童数、及び保育ニーズ量の減少傾向は続くことが予想されます。

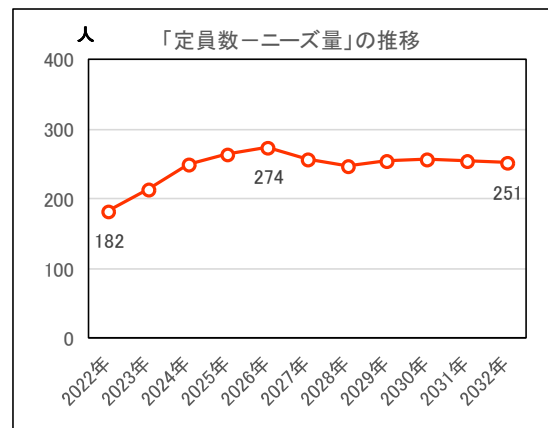
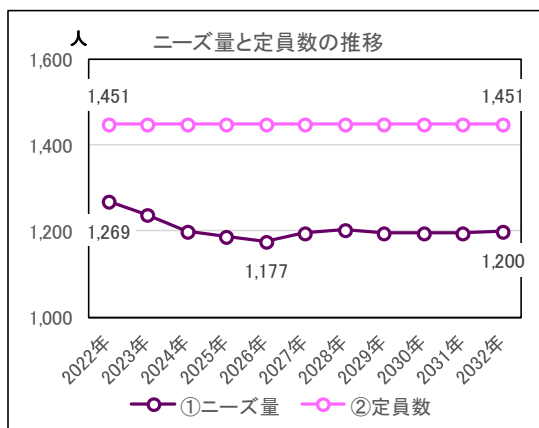
◇就学前児童数（0～5歳児）の推移



「認可保育所待機児童ゼロ維持検討業務」で行った、市内3地域ごとの就学前児童数及び将来の保育ニーズ量の推計によると、富岡保育園が立地する中町地域のニーズ量は2026年までは減少し、その後やや回復した後、横ばいで推移します。そのため「定員数－ニーズ量」（注：定員数は一定と仮定）は、2022年の182人から2026年には274人まで増加し、2032年には251人となる見込みです。

◇中町地域の「保育ニーズ量」等の推移

	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年
①ニーズ量	1,269	1,238	1,201	1,186	1,177	1,195	1,204	1,197	1,195	1,197	1,200
②定員数	1,451	1,451	1,451	1,451	1,451	1,451	1,451	1,451	1,451	1,451	1,451
②－①	182	213	250	265	274	256	247	254	256	254	251
①／②	87.5%	85.3%	82.8%	81.7%	81.1%	82.4%	83.0%	82.5%	82.4%	82.5%	82.7%



(注) 本来であれば「富岡保育園のニーズ量」の推計を行うべきですが、保育園を選択するにはさまざまな要因が影響を与えることから、個別の保育園のニーズ量についての綿密な推計を行うことは現実的に困難です。ここでは全体的な傾向を把握するという趣旨で、中町地域のニーズ量の動向に着目し、検討を行いました。

また、2022年4月現在、富岡保育園では、定員数160人に対して在籍者数は139人で、定員数に対する在籍者数の比率は86.9%となっています。市内7つの市立保育園全体で見たこの比率は91.4%で、富岡保育園の比率は、入船保育園(85.2%。2021年の建て替えにより分母である定員数が大幅に増加したため、比率は低下)に次いで低い水準です。東野保育園も含めて、中町地域の3保育園は、在籍者比率がいずれも80%台で、90%台である元町地域や新町地域の保育園より低い水準にあります。

◇市立7園別 在籍者数と定員数(2022年) (単位:人、再掲)

	当代島 保育園	猫実 保育園	入船 保育園	富岡 保育園	東野 保育園	日の出 保育園	高洲 保育園	合計
立地	元町	元町	中町	中町	中町	新町	新町	—
①在籍者数	128	105	213	139	158	156	224	1,123
②定員数	133	108	250	160	176	169	232	1,228
②-①	5	3	37	21	18	13	8	105
①/②	96.2%	97.2%	85.2%	86.9%	89.8%	92.3%	96.6%	91.4%

以上、富岡保育園では現状において定員数に対して在籍者数にやや余裕があるなかで、立地する中町の保育ニーズ量は、今後更に減少するという推計結果が出ています。その結果として、定員数と在籍者数の差異が拡大することが予想されます。

「ニーズ量変化への的確な対応」という観点から、今回の富岡保育園の建て替えでは、現在の定員数を縮小していくことが妥当であると考えられます。

【結論】

○富岡保育園の規模(定員数)は、今後縮小していく必要がある。

(3)「施設配置の妥当性」の視点

富岡保育園の立地場所について「施設配置の妥当性」の視点から考察していきます。

①対応手法について

富岡保育園への対応手法としては、「居ながら改修・建て替え（園の運営を継続しながら行う改修・建て替え）」と、「近隣地区への移転・建て替え」の2つがあります。ただし「居ながら改修・建て替え」は、以下の2つの理由から、現実的には不可能です。

○改修の場合、調理室等の改修が発生するため、実質的に園の利用を一定期間中止せざるを得ない。

○居ながら建て替えの場合、園庭に園舎を建築することになるが、実質的に現在の園庭は建て替えが可能な広さではない。

②移転先について

現在の富岡保育園を移転・建て替えする場合、その場所は通園する児童の利便性等を考慮し、現在の園に極力近い場所とする必要があります。今後、近隣で保育園の立地が可能なまとまった広さがとれる移転候補地を探していきます。

③移転により期待できる効果の整理

「保育園施設の立地場所」は、利用者の利便性に加え、園児にとっての保育環境、市全体を俯瞰的にみた視点など、さまざまな切り口から検討していく必要があります。以下で、「富岡保育園を新たな候補地に移転することにより期待できる効果」について整理します。

(切り口1) 利用者の利便性

○駐輪場・駐車場の確保が可能

・現在の富岡保育園は敷地面積が狭いため、駐車場がなく駐輪場も極めて狭い状況にあります。敷地面積に余裕がある新たな場所に移転することができれば、保護者が来園する際に利用できる駐輪場や駐車場の台数を増やすことができます。

(切り口2) 保育環境

○保育に望ましい広いスペースの確保、園舎の拡張も可能

・現在の富岡保育園と比し、敷地面積に余裕がある場所に移転することができれば、新しい施設内設備、遊具なども含めて、園児がより充実した環境を享受できます。

○騒音や排気ガス等の影響を受けにくい、閑静な環境

・現在の富岡保育園は、若潮通りに面しているため防音壁が設置されており、園児の望ましい保育環境という面での改善が期待できます。

○自動車交通量の差異による園児の安全面での改善

・現在の富岡保育園は自動車の往来が激しい若潮通りに面しており、安全面での改善が期待できます。

(切り口3) 市全体を俯瞰的にみた視点

○現在の富岡保育園の跡地の将来的な有効活用の可能性

・幹線道路沿いの立地であり、将来的にさまざまな用途での活用の可能性があります。

◇移転により期待できる効果

項目	期待できる効果
(1) 利用者の利便性	○現在地より十分な駐車場・駐輪場の確保が期待できる
(2) 保育環境	○現在地より、保育に望ましい広いスペースの確保が期待できる ○現在地より閑静で、騒音や排気ガス等の影響を受けにくい環境への改善が期待できる ○交通量の多い若潮通りに面している現在地より、安全面での改善が期待できる
(3) 市全体を俯瞰的にみた視点	○現在の富岡保育園の場所は幹線道路沿いで、将来的に有効活用できる可能性がある

これまでの3つの視点から、建て替えが必要とされた富岡保育園ですが、現在の場所での建て替えは困難であることから、近隣の移転場所について検討していく必要があります。

なお、現在の富岡保育園は地積が狭いことから、利用者の利便性、保育環境などの面でさまざまな課題が生じています。少しでも地積が広い市有地に移転することができれば、これらの課題の改善を図ることができます。

以上のことから、新たな富岡保育園の移転場所は、児童や保護者の利便性を考慮し、近隣の望ましいスペースを確保できる市有地とすべきだと考えられます。

【結論】

○新たな施設の配置場所は、近隣の市有地であることが望ましい。

■まとめ

建築後約40年が経過し、老朽化が顕著な富岡保育園への対応が喫緊の課題であること、現在同保育園の在籍者数が定員数をやや下回っており、今後はニーズ量の更なる減少が予想されることがわかりました。また、対応策として同じ場所で行う「居ながら改修」や「居ながら建て替え」は現実的に難しく、更に現在の富岡保育園の敷地が狭いことから、様々な課題があることがわかりました。

以上のことを踏まえ現在の富岡保育園について、その規模を現在より縮小して、近隣市有地への移転・建て替えを推進します。

◇「富岡保育園の移転・建て替えが必要」という結論に至るまでの考え方の整理

